

賞味期限内の廃棄食品活用

可部に「フードバンク」

中国地方初の「フードバンク」を運営する特定非営利活動法人（NPO法人）「あいあいねっと」（原田佳子代表）が二十六日、広島市安佐北区可部三丁目に事務所を開設した。賞味期限内なのに、メーカーや小売店の事情で廃棄されてきた食品を集め、生活弱者の援助などに役立てる活動を始めると。（西村文）



フードバンクに寄せられたレトルト食品について説明する原田代表（右端）

業者ら協力 弱者を援助

開所式には同ネットワークの会員や地元住民、協賛配布する。食育講座にも活用する方針で、約四十人が出席。原田代表は「大量の食物が捨てられる一方で、食事に窮している人もいる。食と人をつなぎ、資源の無駄遣いも減らしたい」と理解を呼び掛けた。

フードバンクは米国発祥の市民運動。国内では東京や大阪などでNPO法人の活動が始まっている。

あいあいねっとは、外箱の破損や内容量の不足などを理由に破棄される食品を回収し、事務所で一時保管。作業所や生活困

社から協力の申し出が数件寄せられている。